

チ	混	し		供	る	皆	男	ク		ユ	で		○	た	う				「
は	じ	、	フ	達	最	に	ダ	の	両	レ	奇	昨	○	、	に	一			生
フ	っ	人	ツ	に	良	慕	マ	信	親	ー	跡	日	万	フ	報	九			か
ツ	て	種	と	は	の	わ	シ	者	は	・	的	ま	人	ツ	道	四			さ
よ	い	間	ツ	、	方	れ	ー	だ	共	イ	に	の	族	さ	年			れ	
り	る	の	チ	高	法	る	ン	っ	に	リ	生	ツ	と	れ	、			て	
少	中	結	は	い	は	人	、	た	教	バ	き	チ	ツ	た	、			」	
し	で	婚	同	教	、	格	そ	。兄	師	ギ	抜	族	チ	、	今			を	
背	、	を	じ	育	良	者	し	弟	で	ザ	い	が	族	ア	か			読	
が	あ	繰	言	を	い	で	て	は	、	の	た	虐	と	フ	ら			ん	
高	え	り	語	望	教	あ	弟	長	熱	手	ツ	殺	の	リ	二			で	
い	て	返	、	ん	育	り	の	男	心	記	チ	さ	内	カ	〇				
位	違	し	文	で	と	、	ヴ	エ	な	で	族	れ	戦	の	年				
だ	い	、	化	い	信	貧	イ	マ	ロ	す	の	た	、	ル	程				
っ	と	遺	、	た	じ	し	ア	ー	ー	。	女	。	一	ワ	前				
た	言	伝	歴	。	て	さ	ネ	マ	マ		性		〇	ン	、			遊	
。	え	子	史		お	か	イ	カ	カ		、		〇	ダ	毎			佐	
	ば	も	を		り	ら	、	ト	ト		イ		日	で	日				
	、	入	共		、	逃	父	リ	リ		マ		で	の	の			和	
	ツ	り	有		子	れ	は	ッ	ッ		キ		一	よ	よ			子	

の	匿	ト		た	物	い	と	兄	さ		た	て	後	女	な	で		学	
は	わ	程	牧	ツ	は	た	約	は	れ	交	殺	行	大	子	試	は	両	は	ツ
、	れ	の	師	チ	こ	ロ	束	彼	た	通	人	く	学	と	験	成	親	か	チ
反	た	ト	に	の	の	ザ	し	女	彼	は	者	°	へ	し	を	績	は	な	の
対	°	イ	案	証	ロ	リ	、	を	ら	禁	達	九	進	て	受	優	彼	わ	子
側	ト	レ	内	明	ザ	オ	牧	一	は	止	は	四	み	は	け	秀	女	な	供
の	イ	の	さ	書	リ	を	師	落	ま	、	す	年	、	最	る	な	を	か	は
ト	レ	中	れ	だ	オ	渡	の	ち	た	電	ぐ	三	年	高	事	生	私	っ	、
イ	を	、	た	け	と	し	所	着	、	話	近	年	の	と	が	徒	立	た	成
レ	流	そ	所	°	少	た	へ	い	す	線	く	時	さ	出	を	高	校	°	績
を	す	こ	は		し	°	送	た	ぐ	は	ま	、	れ	来	公	校	へ		優
誰	の	に	小		の	彼	り	ら	に	切	で	内	る	、	立	へ	入		秀
か	は	ツ	さ		服	女	出	必	側	断	来	戦	高	二	へ	学	さ		で
が	、	チ	な		、	が	す	ず	ま	、	て	が	校	年	入	せ			も
流	ト	の	、		政	持	°	迎	で	一	い	激	へ	時	れ	る			、
す	イ	女	ク		府	っ	父	え	来	度	た	し	移	に	た	め			公
時	レ	性	ロ		が	て	は	に	た	は	°	く	る	彼	め	特			立
、	を	六	ー		発	行	持	行	°	追		な	°	女	別				高
同	流	人	ゼ		行	っ	っ	く	父	い		装	そ	は					校
時	す	が	ッ		し	た	て	ー	と	返		し	の	、					入

パ	ヤ	フ	密	懸	あ		れ	ワ	は		っ	い	し	暗	不	だ	な	膝	に
イ	ン	ラ	告	命	り	発	な	ー	ひ	隠	た	程	、	い	眠	け	い	の	流
と	プ	ン	さ	な	な	狂	が	を	び	れ	°	の	祈	恐	、	°	場	上	す
間	に	ス	れ	イ	が	し	ら	浴	割	て		怒	り	怖	頭	見	所	に	°
違	行	軍	る	マ	ら	て	も	び	れ	一		り	続	心	痛	つ	だ	乗	背
わ	く	キ	か	キ	、	も	彼	ず	、	ヶ		、	け	は	、	か	つ	せ	の
れ	事	ヤ	も	ユ	祈	お	女	、	齒	月		憎	な	信	肌	っ	た	る	高
銃	に	ン	知	レ	る	か	は	着	莖	°		し	け	仰	は	た	°	い	人
を	す	プ	れ	ー	事	し	、	替	は	骨		み	れ	心	剥	ら	食	動	が
向	る	が	な	°	、	く	英	え	腫	は		を	ば	も	げ	、	事	く	の
け	°	近	い	牧	学	な	語	も	れ	皮		お	彼	ぐ	落	殺	は	も	腰
ら	た	く	と	師	ぶ	い	の	出	て	膚		さ	ら	ら	ち	さ	牧	、	を
れ	ど	で	こ	の	事	位	独	来	痛	か		え	を	つ	る	れ	師	眠	下
る	り	あ	ろ	下	、	の	学	な	み	ら		る	殺	か	°	の	が	る	ろ
が	着	る	ま	働	生	過	を	い	、	と		事	し	せ	精	は	運	ス	し
、	いた	事	で	き	残	酷	始	状	一	び		が	て	る	神	あ	ん	ペ	、
ツ	時	を	来	の	る	な	め	態	度	出		出	しま	程	的	き	で	ー	他
チ	、	知	て	少	事	状	る	に	も	し		来	まい	°	な	ら	来	ス	の
の	ス	り	い	年	に	況	°	置	シ	、		な	いた	し	不	か	た	も	人
証		キ	た	に	に	に		か	ヤ	唇		か	た	か	安	か	時	も	を

。

、

。

そ	に	い	た	て	兵		せ	い	生	彼	は	り	達	ま	は	言	の	人	明
の	よ	て	ア	イ	士	や	を	る	に	ら	、	続	も	た	憎	う	を	か	書
後	り	い	ロ	マ	の	が	も	理	な	が	孤	け	大	起	し	知	ら	で	
、	国	た	イ	キ	い	て	た	由	ら	将	児	る	鉦	き	み	る	、	入	
戻	連	°	丨	ュ	る	フ	ら	と	す	来	の	の	を	よ	の	°	両	事	
っ	の	イ	ズ	レ	キ	ラ	す	感	努	、	存	で	捨	う	連	兵	親	が	
て	仕	マ	に	丨	ャ	ン	力	じ	力	待	在	°	、	と	鎖	士	、	出	
来	事	キ	出	の	ン	軍	を	、	を	、	だ	キ	神	す	に	の	兄	来	
て	に	ュ	会	母	プ	の	し	子	し	つ	っ	ヤ	の	事	つ	中	弟	た	
い	就	レ	う	に	へ	キ	よ	供	う	°	°	ン	慈	を	な	に	の	°	
た	く	丨	°	学	と	ヤ	う	ら	と	両	両	プ	悲	止	が	は	残	そ	
近		は	彼	費	移	ン	と	の	誓	親	親	の	を	め	、	復	酷	こ	
所		多	女	を	、	プ	誓	人	う	の	死	中	乞	ら	神	讐	な	で	
の		く	の	出	そ	か	の	生	の	を	を	で	う	れ	の	を	殺	会	
人		の	夫	し	こ	ら	だ	が	だ	見	を	辛	よ	る	許	し	方	っ	
達		人	は	て	こ	、	っ	生	だ	て	を	か	う	、	し	あ	を	た	
か		達	国	頂	こ	ツ	た	か	け	来	見	っ	に	殺	だ	げ	さ	兄	
ら		の	連	い	こ	チ	っ	さ	の	た	て	た	と	人	け	る	れ	の	
、		助	で	て	こ	族	°	れ	の	た	人	の	祈	者	が	と	た	友	
		け	働	い	つ			て	人	た	人								

この事ここそが、過酷な運命の中を生きのび	の事を叶えていくでしよ。	能だーこの言葉通り、深い信仰で、これら	節にあー神と共にあれば、すべての事は可	助けを願っている。きつと彼女は、聖書の	ようとしてる。特に親を失った子供達の	者達の身体と心と魂を癒すための基金を設け	し、虐殺の犠牲者達と、すべての戦争の犠牲	で、二人の子供にもめぐまれ、国連に再就職	くアメリカ人と結婚し、アメリカに移り住ん	らしている。イマキュレは現在、国連で働	彼はルワンダに帰り、獣医師として家族とく	唯一の救いは兄、エマーブルが居る事です。	両親、次兄、弟を殺されたイマキュレ、	する事が出来ましようにーと。	苦しみを取り除き、心を清め、彼らを許し愛	心を、祈り続ける事で静めていった。ーこの	時には怒りで復讐に燃え、荒れ狂う程だった	った生家に運んで墓を作り、埋葬してあげた	母と次兄の埋められた場所を聞き、廃墟にな
----------------------	--------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	----------------------	----------------------	--------------------	----------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

